

- 1 月 白根地区消防本部職員採用試験受け付け開始(□12日まで□消防本部□P 9)
- 2 火
- 3 水 心配ごと相談所(□13時~15時□老人センター)
- 4 木
- 5 金
- 6 土
- 7 日 スキー映画の夕べ(□19時30分~□教育センター□P 8)
愛の献血(□1)10時~正午(□2)13時~15時30分□茨曾根生活センター□P 9)
休日当番医=石崎医院・中央通3・☎372・3820
- 8 月 中央公民館パソコン講座(□12日まで 19時~□中央公民館□P 9)
- 9 火
- 10 水 母子手帳交付日・妊婦歯科検診(□受け付け=13時~13時30分□保健センター)
心配ごと相談所(□13時~15時□老人センター)
- 11 木
- 12 金 税務相談(□10時~15時□市役所□P 9)
- 13 土
- 14 日 休日当番医=馬場医院・杉菜町・☎373・6565
- 15 月
- 16 火
- 17 水 心配ごと相談所(□13時~15時□老人センター)
- 18 木
- 19 金 '98カレンダー展(□23日まで 9時~19時□中央公民館□P 8)
求人求職相談ハローワークピアしろね(□9時30分~□市役所□P 8)
- 20 土
- 21 日 消防本部応急手当普及講習会(□9時~正午□消防庁舎□P 9)
休日当番医=齊藤皮膚科医院・中央通5・☎372・3080
- 22 月
- 23 祝 休日当番医=田中眼科医院・水道町1・☎373・3962
- 24 水 心配ごと相談所(□13時~15時□老人センター)
- 25 木
- 26 金
- 27 土
- 28 日 休日当番医=村田整形外科医院・小須戸町・☎0250・38・5211
- 29 月 市役所関係年末のお休み(□1月4日まで 詳しくは次号で掲載)
- 30 火
- 31 水

■1月以降の予定

- ・新飯田元旦マラソン・元旦みんなで歩こう会
(□1月1日 10時~□新飯田小□P 8)
- ・野外活動交歓のつどいスキーツアー
(□2月7・8日□石打丸山スキー場□P 8)

数字で見る市勢 ※11月1日現在

※()内は前月比
人口 40,227人 (+51人)
男 19,711人 (+28人)
女 20,516人 (+23人)
世帯 10,446世帯 (+24世帯)
出生 32人 死亡 28人
10月中の 転入 101人 転出 56人



お知らせ



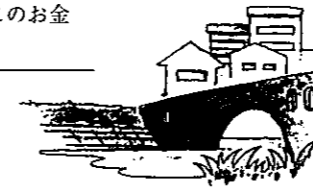
●●●●●電話番号●●●●●

- 白根市役所…代表 373・2111
FAX 373・3933
- 教育委員会(学校教育課、理科センター)
…373・3171
- 中央公民館・白根地区公民館
…373・3174
- 青年教育センター・社会教育課
…373・2800
- 老人福祉センター…373・3096
- デイサービスセンター
…373・6009
- 保健センター…373・4300
- 市立図書館…373・2810
- カルチャーセンター
…373・6311
- しろね大風と歴史の館
…372・0314

●近隣市町村の下水道使用料金

市町村名	20㎡当りの使用料/月
新潟市	1,667円
三条市	3,700円
新津市	2,100円
燕市	1,824円
五泉市	2,600円
加茂市	2,600円
横越町	2,363円
亀田町	1,957円
村松町	2,400円
小須戸町	2,500円
田上町	2,700円

【参考】 現在水洗トイレを使用している家庭では、し尿浄化槽の管理費は、例えば7人槽で定期検査・清掃・水質検査を合わせて年26,000円ほどですが、下水道が入るとこのお金は要らなくなります。



町村では上の表のとおりとなっております。白根市の使用料金はまだ決定していませんが、近隣の市町村では

下水道使用料とは？

流した汚水の量に応じて納入、計量は上水道のメーターで

下水道を使うようになると、流した汚水の量に応じて、実際に使用した人から「下水道使用料」を納めてもらうこととなります。
この使用料は、建設時の借入金の返済や下水道施設の維持管理費に充てるもので、例えば下水道管が十分にその機能を果たしているか定期的に検査を行ったり、掃除や修理をしたりするものです。このほか処理場の施設が正しく運転されているかどうかの管理や、放流水の水質検査などにも、かなりの経費が掛かりますので、これらの費用の一部

■使用料の算定は
下水道使用料金は、上水道使用量を汚水使用量と定め、基本料金と水量に応じた従量使用料による算定方式が一般的です。
この場合、流した汚水の量を測るメーターを特別に設置するわけではなく、汚水の量は使った水道の量と考えて、各家庭に設置してある上水道のメーターで計量することになります。

を下水道使用料で賄うものである。



市民の学習支援へ向け、行政改革で体制づくり

生涯学習の推進で大切なことは、学習する人の自発的な意欲、学習施設などの社会環境の整備、そして行政の学習支援など、さまざまな条件が整うことが必要です。中でも行政の支援は、学習者の意欲を喚起し、実践に結び付けていくためにとても重要なことです。現在、計画を進めている(仮称)生涯学習センターも支援施策の一つですが、市民の皆さんの幅広い要求にこたえていくためには、施設の充実はもちろん、学習活動を支える行政の組織体制が重要なポイントとなってきます。

■体制づくり
現在、市では二十一世紀へ向け、市民サービスの向上や事務の効率化を図るため、来年度の行政組織改革を進めています。生涯学習センターは平成十二年度に完成の予定。市民だれもが気軽にさまざまなことを学び、生き生きとした暮らしができるよう、皆さんの期待にこたえられる施設にしていきたいと考えています。

また生涯学習センターをあらゆる情報発信基地として、県内市町村の学習情報や事業の実施状況などが一目で分かります。市内の各地区へも学習情報やイベント情報をリアルタイムで届けられるような情報システムの構築を目指したいと考えています。

機構の改革に取り組んでいます。改革では、もちろん生涯学習センターの整備も考慮して、社会教育課・公民館・図書館・青年教育センターなどの施設機関の統合を行い、効率的な施設の運営と幅広い事業展開、市民への豊富な学習機会の提供を目指していく考えです。そして、カルチャーセンターやしろね大風と歴史の館とも連携しながら、市民団体の育成や個人の支援にも力を入れるなど、だれでも生涯にわたって学習できる施設として、市民の期待にこたえられる体制づくりを進めていきます。



また生涯学習センターをあらゆる情報発信基地として、県内市町村の学習情報や事業の実施状況などが一目で分かります。市内の各地区へも学習情報やイベント情報をリアルタイムで届けられるような情報システムの構築を目指したいと考えています。

|| おわり ||